

# 2025年12月期 決算補足説明資料

---

井関農機株式会社

2026年2月13日

## 2025年12月期業績

**P L 前期比 : 増収増益 (11月14日公表予想を上回る)**

プロジェクトZの当期発現効果は計画通り

**過去最高 売上高**

**B S 棚卸資産 : 大幅圧縮 前期末比 △ 91億円**

**有利子負債 : 大幅削減 前期末比 △133億円**

**C F 営業CF : 234億円黒字 過去最高**

**配当 1株あたり40円の期末配当予定(前期比10円増配)**

## 2026年12月期予想

- ・減収ながらプロジェクトZ効果で  
営業増益
- ・増配予定(2期連続)

業績予想 : 売上高	1,800億円	(前期比 : △57億円、△ 3.1%)
営業利益	60億円	(前期比 : + 17億円、+ 42.0%)
営業利益率	3.3%	(前期比 : + 1.0%)
純利益	30億円	(前期比 : + 2億円、+ 8.8%)
配当予想 : 1株あたり	45円	(前期比 : 5円増配)

**1. 2025年12月期 業績の概要**

**2. 2026年12月期 業績予想**

# 1. 2025年12月期 業績の概要

# 連結業績の概要

(単位：億円、%)	2024/12期	2025/12期	前期比	予想比 *1
	実績	実績		
売上高	1,684	1,857	+ 173	+ 47
(国内)	1,130	1,294	+ 164	+ 39
(海外)	553	563	+ 9	+ 8
売上総利益	506	556	+ 50	
売上総利益率	30.1%	30.0%	△ 0.1%	
営業利益	19	42	+ 23	+ 2
営業利益率	1.1%	2.3%	+ 1.2%	+ 0.1%
経常利益	15	41	+ 25	+ 10
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 30	27	+ 57	+ 4
為替平均*2   ドル	151.7	149.9	△ 1.9	+ 0.9
レート(円)   ユーロ	164.8	169.1	+ 4.3	+ 2.1
期末配当 (円/1株)	30	40	+ 10	± 0
ROE (%)	△ 4.4%	3.9%	+ 8.3%	

\*1：2025年11月14日公表の業績予想との対比

\*2：2025年度から在外子会社のPL換算レートを期中平均レートに変更しています。（従前は各期末レート）

## 主な増減要因（前期比）

### ・増収増益

#### 過去最高 売上高(国内大幅増収、海外も堅調維持)

国内売上高   ： 農家の購買意欲の高まりを的確に捉え増収  
メンテナンス収入も続伸

海外売上高   ： 欧州は引き続き堅調、北米の減収を  
アジアの増収が上回り、全体で増収

営業利益       ： 国内外の増収および  
価格改定効果で増益

当期純利益    ： 固定資産売却益計上に加え、  
前年の持分法投資損失、構造改革に  
伴う減損損失が無くなり大幅増益

#### 当期純利益の主な増減要因（プラスは収益好転）

営業利益の増	+ 23億円
為替差益の悪化	△ 2億円
持分法投資損失の解消	+ 8億円
固定資産売却益	+ 10億円
減損損失の減少 (前年は構造改革に伴い計上)	+ 21億円

(単位：億円、%)			2022/12期	2023/12期	2024/12期	2025/12期	
			実績	実績	実績	実績	前期比
農機 関連	農機 製品	整地機	229	220	212	243	+ 30
		栽培機	79	72	65	81	+ 15
		収穫調製機	160	157	163	186	+ 23
		小計	469	450	441	511	+ 69
	メン テナ ンス	部品	156	160	169	184	+ 15
		修理収入	58	60	62	67	+ 5
		小計	215	220	231	252	+ 20
	作業機		205	204	210	282	+ 71
	計		889	875	884	1,046	+162
	施設工事		43	55	41	59	+ 17
その他農業関連		193	199	204	188	△ 15	
合計		1,126	1,130	1,130	1,294	+ 164	
メンテナンス収入比率			19.1%	19.5%	20.5%	19.5%	△ 1.0%

主な増減要因（前期比）

・農家の購買意欲の高まりを的確に捉え増収  
メンテナンス収入も続伸

農機製品・作業機：大型・先端商品の販売好調

メンテナンス収入：安定収益源、堅調に増加

施設工事：大型物件の複数完工で増収

➤（参考）当社農機製品価格改定

時期	改定率
2022年6月	約3%
2023年4月	約5%
2024年3月	約3%
2025年7月	約7%

(単位：億円、%)	2022/12期	2023/12期	2024/12期	2025/12期	前期比
	実績	実績	実績	実績	
欧 州	251	332	385	385	△ 0
北 米	195	142	112	104	△ 7
ア ジ ア	86	81	49	69	+ 19
そ の 他	6	11	5	3	△ 2
合 計	539	568	553	563	+ 9

海外売上高 比率	32.4%	33.5%	32.9%	30.3%	△ 2.6%
-------------	-------	-------	-------	-------	--------

## 主な増減要因（前期比）

・欧州は引き続き堅調、北米の減収を  
アジアの増収が上回り、全体で増収

欧 州：フランスIF社でコンシューマー向けを中心に堅調継続、  
イギリスIUK社連結化効果で、

ドイツIMG社の仕入商品特需があった前年と同水準

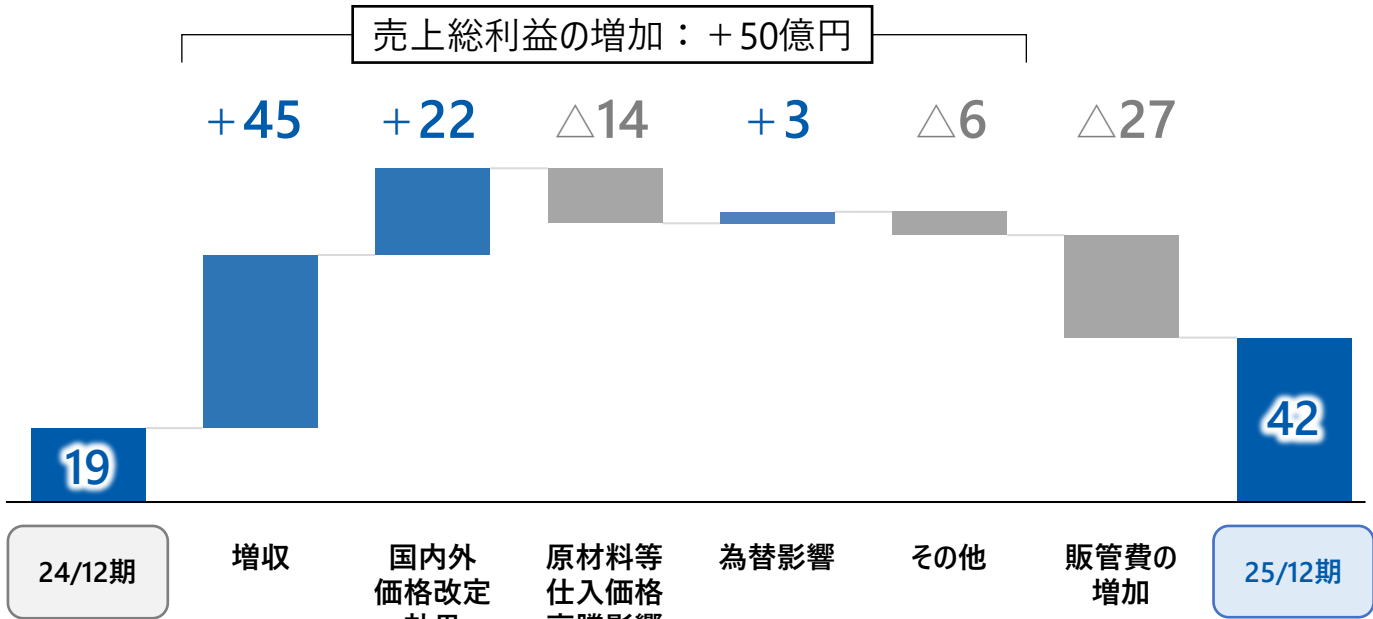
北 米：コンパクトトラクタ市場は弱含み継続

アジア：韓国で在庫調整完了後の出荷回復、  
インドネシアで農業機械化予算拡大による  
政府入札向け出荷増

- 国内外の増収および価格改定効果で増益

(単位：億円、%)	2024/12期 実績	2025/12期 実績	前期比
売上高	1,684	1,857	+ 173
売上総利益	506	556	+ 50
売上総利益率	30.1%	30.0%	△ 0.1%
販管費	487	514	+ 27
人件費	276	293	+ 17
その他経費	210	220	+ 9
営業利益	19	42	+ 23
営業利益率	1.1%	2.3%	+ 1.2%

【営業利益増減内訳(前期比：+23億円)】



【為替影響(損益影響、億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+ 6	△ 3	△ 1	+ 1

(参考)

【プロジェクト Z (損益影響、億円)】

営業利益	計画	実績
効果	+ 15	+ 15
一時費用*	△ 8	△ 8

\* 生産移管費用、販社統合費用など



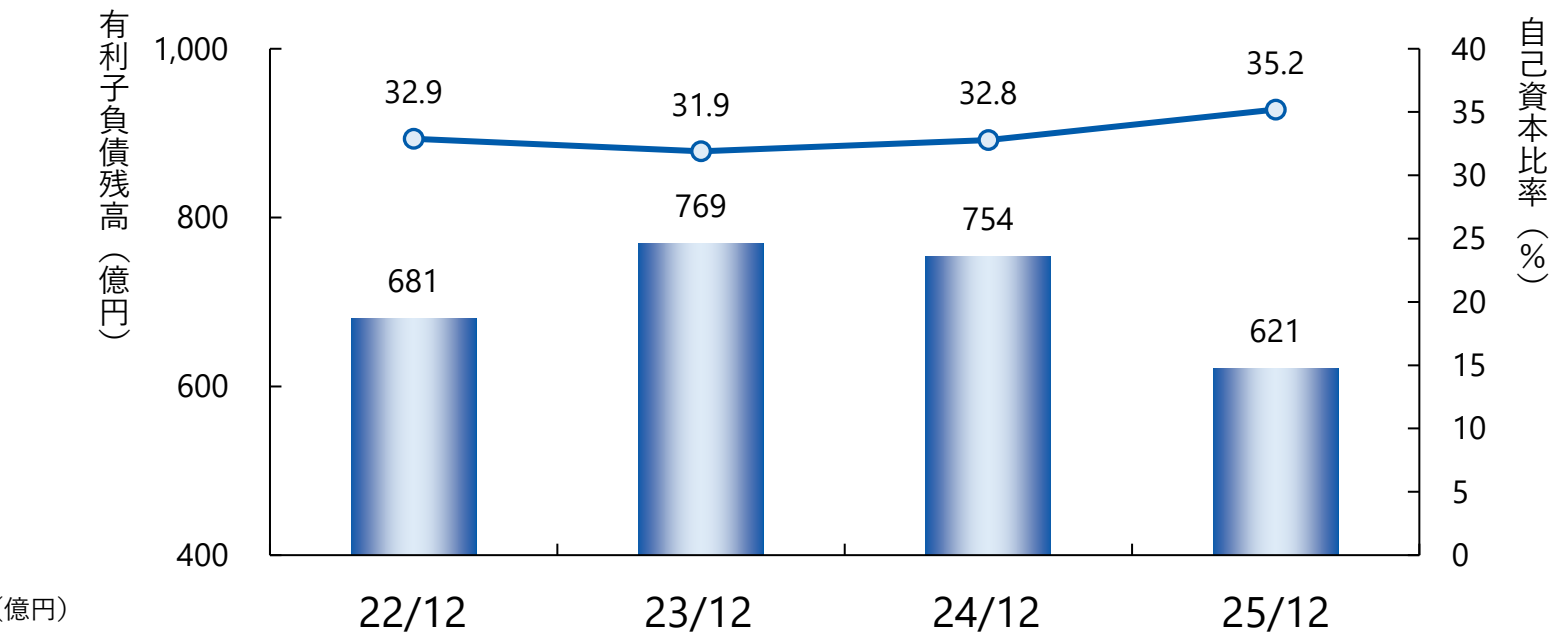
# バランシート

- ・ 国内販売好調で棚卸資産は大幅圧縮
- ・ 有利子負債も大幅削減

(単位：億円)	2024/12月末	2025/12月末	前期末比		2024/12月末	2025/12月末	前期末比
現金	82	128	+ 46	仕入債務	252	269	+ 16
売上債権	254	264	+ 10	有利子負債	754	621	△ 133
棚卸資産	669	577	△ 91	(借入金)	(681)	(549)	(△ 131)
その他流動資産	50	53	+ 2	未払金	102	139	+ 36
				その他負債	232	280	+ 47
流動資産計	1,056	1,024	△ 31	負債計	1,342	1,310	△ 32
有形固定資産	813	836	+ 22	純資産	718	784	+ 65
無形固定資産	29	39	+ 9				
投資その他資産	161	194	+ 32	(利益剰余金)	(166)	(191)	(+ 25)
固定資産計	1,005	1,070	+ 65				
資産合計	2,061	2,094	+ 33	負債・純資産計	2,061	2,094	+ 33

# 有利子負債・自己資本比率・配当

## 【有利子負債・自己資本比率】



借入金	611	698	681	549
リース債務	70	71	73	71
有利子負債計	681	769	754	621
純資産	723	742	718	784
D/Eレシオ	0.94倍	1.04倍	1.05倍	0.79倍

## 【配当】

(単位：円)

	2024/12期 実績	2025/12期 予定
期末配当	30	40

有利子負債大幅削減によりD/Eレシオは0.79倍

※D/Eレシオ=有利子負債/純資産 ※リース債務を含む

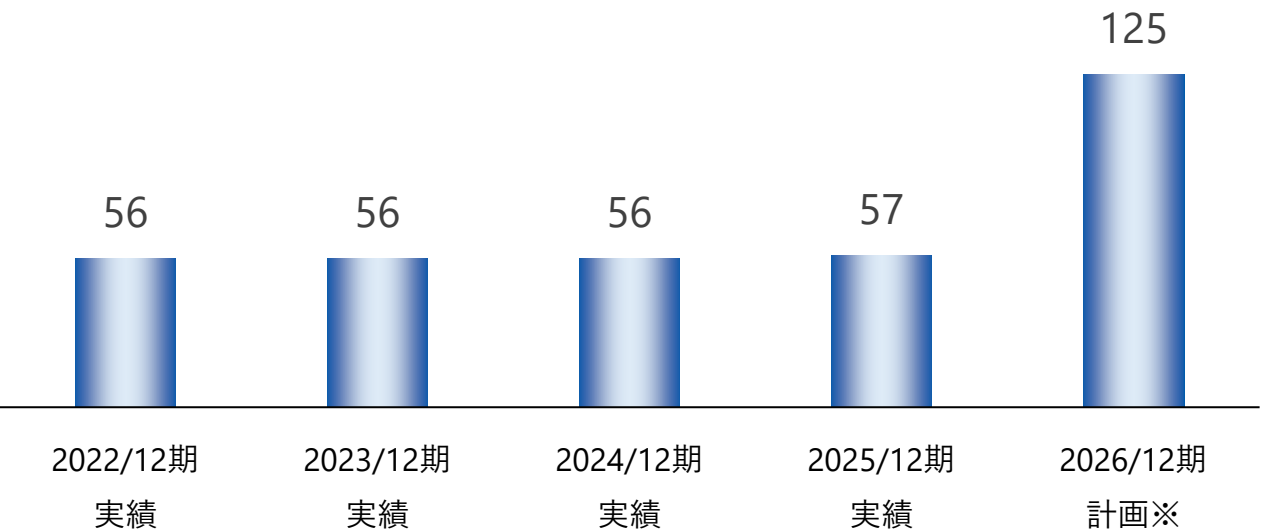
- 増益と棚卸資産圧縮で営業CFは大幅に改善。固定資産売却でフリーCFは更に改善

(単位：億円)	2022/12期 実績	2023/12期 実績	2024/12期 実績	2025/12期 実績	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 33	△ 24	88	234	+ 146
(税金等調整前当期純利益)	52	19	△ 15	44	+ 59
(減価償却費)	61	56	54	52	△ 2
(減損損失)	△ 15	0	23	2	△ 20
(売上債権の増減額 (△は増加) )	△ 51	12	18	△ 16	△ 35
(棚卸資産の増減額 (△は増加) )	△ 114	△ 63	74	119	+ 45
(仕入債務の増減額 (△は減少) )	54	△ 45	△ 169	16	+186
(未払金の増減額 (△は減少) )	△ 1	0	97	34	△ 63
(その他)	△ 18	△ 3	5	△ 18	△ 23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 29	△ 54	△ 58	△ 44	+ 14
(有形及び無形固定資産の取得による支出)	△ 48	△ 57	△ 57	△ 65	△ 8
(有形及び無形固定資産の売却による収入)	4	3	5	19	+ 13
フリーキャッシュ・フロー	△ 63	△ 78	29	190	+ 160
財務活動によるキャッシュ・フロー	20	67	△ 50	△ 151	△ 100

# 設備投資・減価償却費・研究開発費

## 【設備投資（億円）】

※有形・無形固定資産受入れベース



## 【減価償却費・研究開発費（億円）】

	2024/12期 実績	2025/12期 実績
減価償却費	54.3	52.0
研究開発費	14.6	19.3

※2026年設備投資計画 125億円  
内、最適化投資 80億円

（内訳）

	2024/12期	2025/12期
販社拠点	16	14
生産性向上	12	26
情報化	3	3
その他	25	14
計	56	57

## 2. 2026年12月期 業績予想

# 2026年12月期 連結業績予想

- ・ 減収ながらプロジェクト Z 効果で営業増益
- ・ 配当 1 株あたり5円増配し、45円の予定 (2 期連続増配予定)

(単位：億円、%)		2023/12期 実績	2024/12期 実績	2025/12期 実績	2026/12期 予想	前期比
売上高		1,699	1,684	1,857	1,800	△ 57
	(国内)	1,130	1,130	1,294	1,200	△ 94
	(海外)	568	553	563	600	+ 36
営業利益		22	19	42	60	+ 17
	営業利益率	1.3%	1.1%	2.3%	3.3%	+ 1.0%
経常利益		20	15	41	49	+ 7
親会社株主に帰属する 当期純利益		0	△ 30	27	30	+ 2
為替平均 レート(円)	ドル	139.7	151.7	149.9	150	+ 0.1
	ユーロ	156.6	164.8	169.1	175	+ 5.9
期末配当 (円/1株)		30	30	40	45	+ 5
ROE (%)		0.0%	△ 4.4%	3.9%(2.4%)* <sup>1</sup>	4.0%	+ 0.1%

\* 1 ( )内数値は、固定資産売却益10億円を除く

# 国内売上高予想

- ・ 需要は底堅く推移するものの、一時的に生産能力が追い付かず、減収

(単位：億円)		2022/12期	2023/12期	2024/12期	2025/12期	2026/12期	前期比
		実績	実績	実績	実績	予想	
農機関連	農機製品	469	450	441	511	460	△ 51
	メンテナンス	部 品	156	160	169	185	+ 0
		修 理 収 入	58	60	62	68	+ 0
		小 計	215	220	231	253	+ 0
	作 業 機		205	204	210	282	△ 32
	計		889	875	884	1,046	△ 83
施 設 工 事		43	55	41	59	48	△ 11
その他農業関連		193	199	204	188	189	+ 0
合 計		1,126	1,130	1,130	1,294	1,200	△ 94
メンテナンス収入比率		19.1%	19.5%	20.5%	19.5%	21.1%	+ 1.6%

# 海外売上高予想

- ・ 欧州の堅調な需要に加え、北米のコンパクトトラクタ市場の底打ちもあり増収

(単位：億円、%)	2022/12期	2023/12期	2024/12期	2025/12期	2026/12期	
	実績	実績	実績	実績	予想	前期比
欧 州	251	332	385	385	418	+ 32
北 米	195	142	112	104	113	+ 8
ア ジ ア	86	81	49	69	65	△ 4
そ の 他	6	11	5	3	4	+ 0
合 計	539	568	553	563	600	+ 36

海外売上高比率	32.4%	33.5%	32.9%	30.3%	33.3%	+ 3.0%
---------	-------	-------	-------	-------	-------	--------



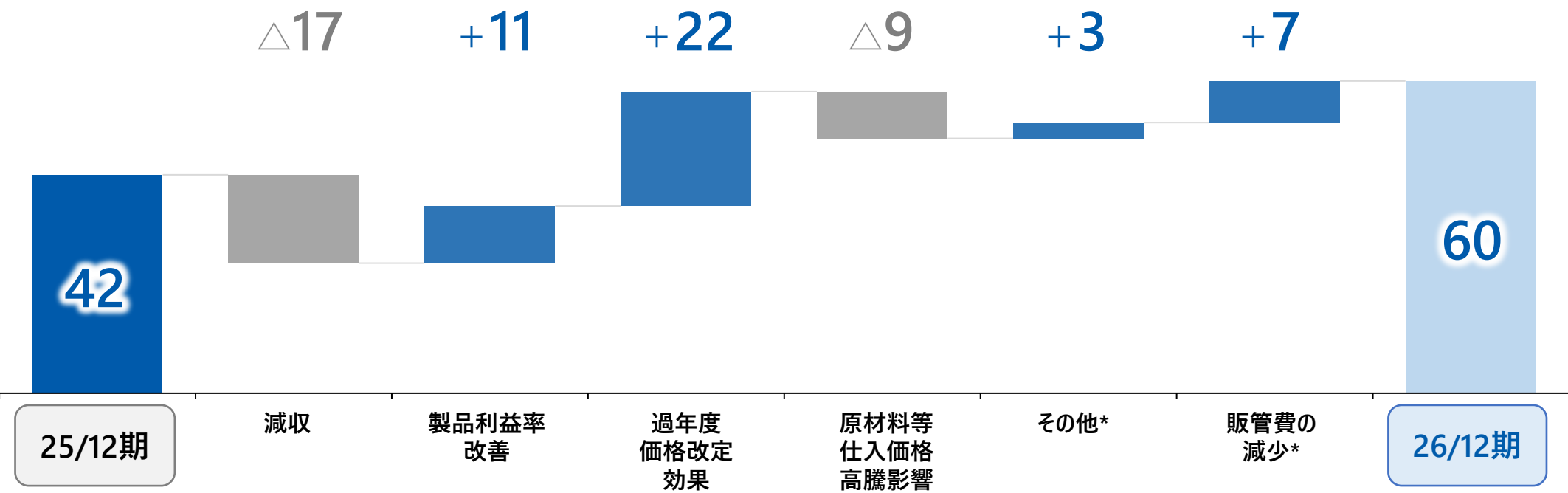
# 連結営業利益増減要因

- 2026年度は一時的に生産能力が追いつかないため、減収影響が生じるものの、プロジェクト Z 効果発現と価格改定効果により、増益。

【プロジェクト Z (2024年対比損益影響、億円)】

営業利益	2025年 累計	2026年 累計	前年増減
効果	15	38	+ 23
一時費用	8	3	△5
ネット	7	35	+ 28

【営業利益増減内訳（前期比：+17億円）】

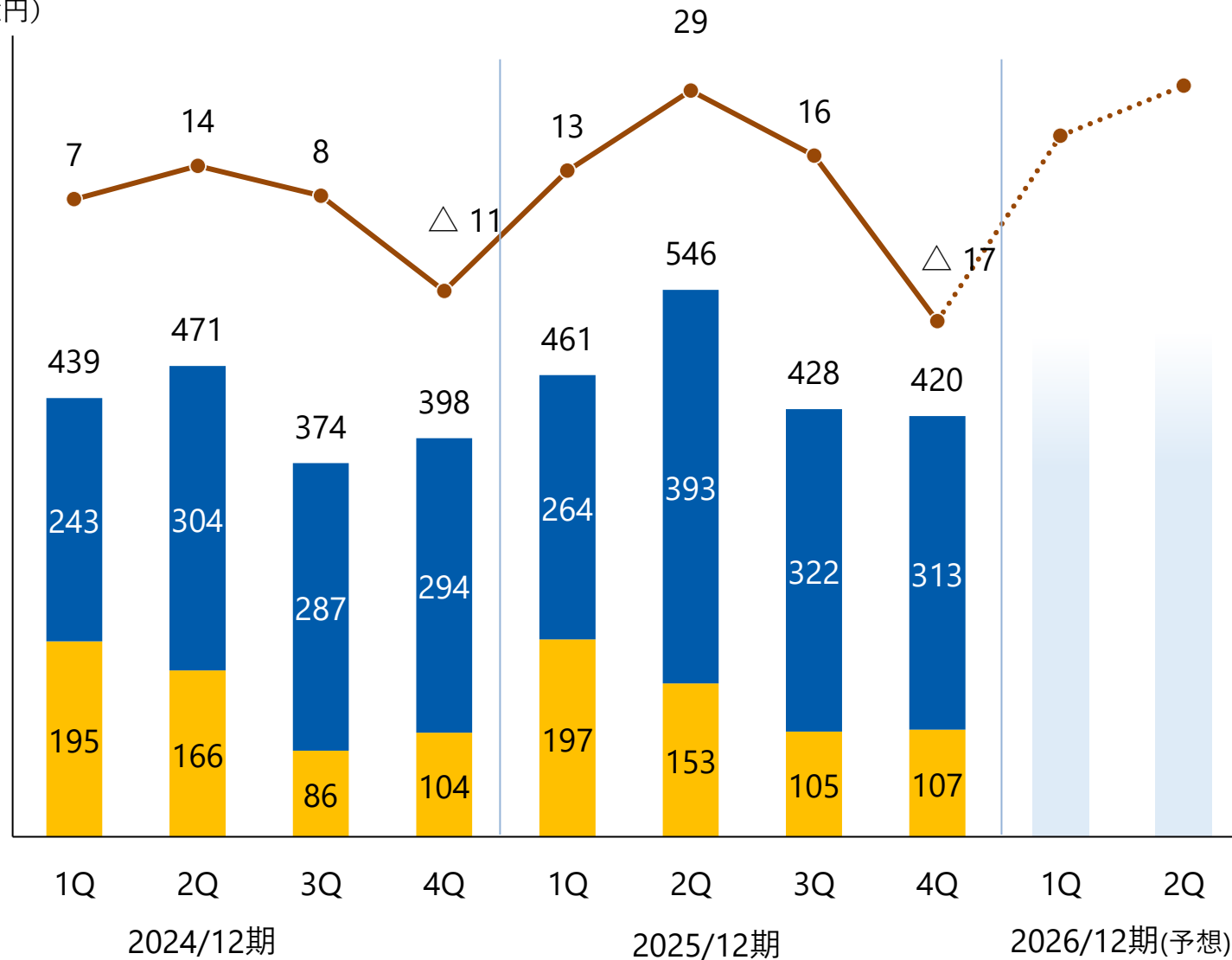


\* 2025年に発生したプロジェクト Z に係る一時費用の減少含む

# 連結業績の推移（四半期別）

■ 海外売上高 ■ 国内売上高 ● 営業利益

(億円)



- ・ 2026年は上期好調な滑り出し  
下期も新商品効果で増益を見込む

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません
  - ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません
  - ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します
- 本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません

